

# 研究シーズ

岩手大学

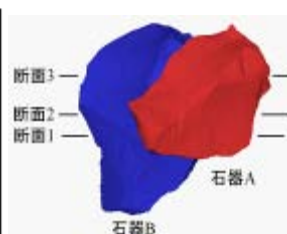
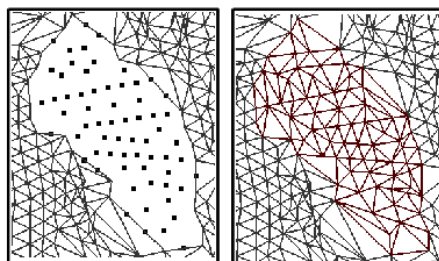
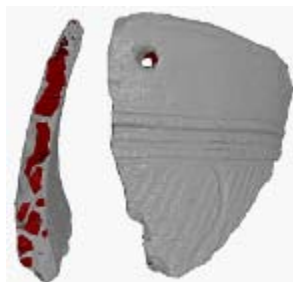
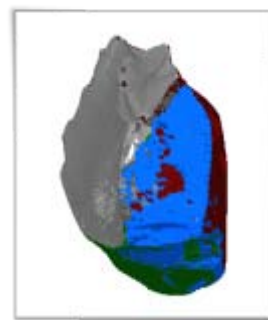
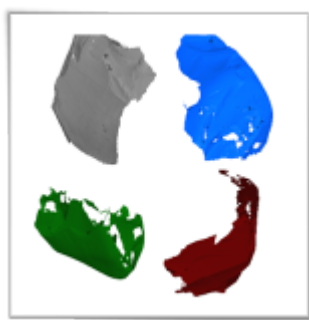
シーズ名	計測技術を用いた考古学支援システム	分類：6
所属 / 職 / 氏名	工学部 電気電子・情報システム工学科 / 教授 / 今野晃市	
キーワード	石器・土器計測，モデル復元，多方向同時計測，実測図化支援	

どんな技術？

一言アピール

石器や土器の計測データからモデルを復元したり、実測図を作るための情報を自動生成したりします。また、復元した3次元データに、力覚提示装置を用いて触るシステムを構築しています。

本研究では、「3次元形状計測技術開発とその応用」で得られた成果を活用して、企業と共同で多方向大量同時計測システムを開発し、その計測システムを用いて、石器や土器片などの遺物を計測しています。本手法で得られた計測点群は、位置合わせと穴埋めが完了しているので、石器接合資料や土器片の復元、図化の支援情報を提供できます。また、仮想空間で復元した形状に、力覚提示装置を用いて触るシステムを構築しています。



何に使えるの？

遺物の仮想展示，電子博物館，遺物実測図化支援

関連特許

関連資料等

E. Altantsetseg, Y. Muraki, F. Chiba, and K. Konno:3D Surface Reconstruction of Stone Tools by Using Four-Directional Measurement Machine, The International Journal of Virtual Reality (IJVR), Vol.10, No.1, pp.37--43, 2011.

(研究室 HP) <http://gmhost.lk.cis.iwate-u.ac.jp>